

## 心身障害者福祉手当に関する意見一覧

「役割を終えたと考えられる事業  
心身障害者福祉手当の見直しについて」

心身障害者福祉手当については、役割を終えたと考えられることから、事業を見直すべきとの意見があるが、これについてどう考えるか。

.....

**宇部市腎友会**

- ・ よくわからない。廃止した場合何にこの予算を持っていくか、ということが明確でない。この制度と同等なものが新しくできるのか、3,000万円近い予算を何に使うのかということが明確でないので、これだけでは判断できない。できれば現行のまま継続がよい。

**特定非営利活動法人 むつみ会**

- ・ よくわからない。この手当の制度が始まった当時とは時代が変わり、精神障害が重要な障害のひとつとなっている。そうした手当の中にある程度踏み込んでほしい。自分達の意見としては、現代の病気である精神障害は社会問題でもある。そうした点を組み入れて一緒に考えていただきたい。

**南風荘後援会**

- ・ この制度はなくしてもよい。現在は国の制度も変わって在宅の人も様々なサービスを受けられるようになった。また、現在の制度は精神障害者が全く対象になっていない。ただし、この手当を廃止して得られた予算を他の制度に切り替えてほしい。これまではこの手当の制度も含めて、施設入所を前提とした制度だった。これからは一人暮らしやグループホームなどで自立して生活していく方向になっていく。そうした自立生活を支える制度のために予算を使ってほしい。

**山口喉友会宇部教室**

- ・ 廃止してもよい。制度の開始当時とは時代も変わっているので、この手当を廃止して他の制度に予算を振り分けられるならそうしてよい。

**宇部市視覚障害者福祉協会**

- ・ 障害者の就労や自立生活のための制度に予算を使ってほしいが、人によっては金銭的に困窮している人もいる。そうした人が最低限度の生活を維持できるような配慮はしてほしい。
- ・ 現在の状況では、(手当が)生活資金の一部を補うものとなっているので、配慮が必要である。

**宇部市聴覚障害者福祉協会**

- ・ 手当を廃止するのなら、障害者団体への生活訓練などの事業費を充実させてほしい。また、高齢化等により就労が難しい障害者が増えているので、(手当の)予算は就労

支援等に使うことも有効。

- ・ ただ、団体内には（廃止に）賛成反対それぞれの意見がある。

#### **ひまわり会(宇部市ダウン症児親の会)**

- ・ 少額でも貴重な収入なので、この制度は続けてほしい。子供たちに様々な活動をするため、という点からもこの手当は重要である。同じ障害者なのに手帳の等級がAかBか、ということで手当の支給対象から外れることはおかしいと思う。額が小さくなっていいので、そうした人たちにも均等に手当を支給してほしい。

#### **知的障害者家族の会 “そら”**

- ・ 2,000円であっても、低所得の世帯にとっては重要である。手当に代わる制度を示してもらえれば、そうした世帯にも安心が生まれると思う。一方的な見直しは難しい。

#### **在宅障害者・児と家族を支援する会**

- ・ 会員の中には手当をなくさないでほしいと言う声もあった。
- ・ 現在の手当は対象者の枠も狭いので、見直して他の制度を充実させた方がよいのではないか。手当に代わる制度として、災害時のための基金やショートステイの確保等に予算を使って欲しいという声もあった。

#### **特定非営利活動法人 おひさま生活塾**

- ・ 特別障害者手当を受けられない人が心身障害者福祉手当を受けているが、生活の困難さはIQによるものではないので、特別障害者手当の枠を広げて受給者が増えるようにしてほしい。また、(この予算を)移動支援の利用枠拡大に使ってほしいという声もあった。

#### **宇部すみれ会**

- ・ 手当については存続してほしい。
- ・ 廃止した場合、それに代わるサービスが滞りなく運用できるかという懸念がある。

#### **NPO 法人 ふらっとコミュニティ ひだまり**

- ・ 手当に関しては現時点で特段の意見なし。

#### **宇部市障害者ケア協議会**

- ・ 心身障害者福祉手当は廃止すべき。児童については所得が国の基準以内であれば特別児童扶養手当等が受給できる。金銭的に困窮している世帯については個別に検討する問題である。地域活動の基盤整備にこの予算を充てるべき。